

仙人通信 161 水沢山(1194 m)

水沢山は坂東 33 霊場 16 番の札所で有名な水沢観音の背面に、山頂部を丸く持ち上げた独特の山容の独立峰であり、榛名山の寄生火山で 3 等三角点の山でもある。

水沢観音の駐車場から、観音堂・六角二重塔の先の石の階段から登り、山頂からつつじヶ岡を經由し、憩いの森に下山するコースとした。

すれ違いがやっとの狭い 77 段の階段を登ると、飯縄大権現が祀られた祠があり、その先には万葉の碑と静かな山路のスタートだ。杉林を更に進むと、駐車場からの 2 m 程の幅の林道と合流する。その林道を 100 m 程進むと水沢山を示す道標があり、山頂までを 10 分割した 2 合目とある。ここから丸太で作られた階段の始まりだ。水檜やシデの木の下では、四隅に白い花を付けたヤマアジサイや小さな花を付けたザリコミが元気である。3 号目で尾根からの路と合流する。階段は、自然石が主体となり、サイドに張られたロープを頼りの登りだ。周囲には、小さな花びらの白いコアジサイが主体となる。白いトリアシショウマも散見される中、黄緑の花弁の尖ったハナイカリが一株、誰にも見つからない様に、咲いて居るのを見つけ嬉しさが込み上げた。頭上には、白いヤマボウシやエゴの木の花だ。歩き始めて丁度 1 時間で、駐車場と山頂へ 1 km の 5 合目「休み石

である。登りは更に急勾配となり、30 分

程で上空が開け 12 体の石仏が並ぶ尾根だ。赤いシモツケ・白いトラノウ・紫のノハナショウブが石仏を取り巻いて咲いている。狭い尾根道となり目の前に山頂が望めるも他は霧の中だ。ノリウツギ等のトンネルの尾根は、木陰の上涼しい風が吹き抜け、汗だくの身を癒してくれた。5 分程僅かに下降後、10 分の登りで小さな山頂である。方位板には、上州の主要な山が示されているも、立ち込める霧のため、眼下のゴルフ場と渋川の町がやっと望める程度で残念だ。白い棒状の花のノリウツギが、その内側を赤いシモツケが、中央に米粒大の花弁のコメツツジが見事に咲いていてくれ、嬉しさが込み上げた。15 分程緩やかな尾根を下ると、パラボラアンテナの立つ中継所があり、尾根が 30 m 程切開かれたコースとなる。白いヒキオコシだろうか、一面に咲き誇っている。15 分程で舗装された林道上野原線だ。林道の土手には、満開のシモツケ・トリアシショウマ・ホタルブクロ・ノリウツギだ。

10 分程でつつじヶ岡の展望台である。霧も少し晴れて北側に小野子山・子持山が、東には赤城山塊そして南には登って来た水沢山を望む事が出来た。階段を降りると隣の二つ岳と相馬山も望めた。ここからは憩いの村に通ずる林の中の路である。ミツバツツジやコアジサイに包まれた静かな心休まるコースである。途中、蕾の膨らんだレンゲショウマも見つける事も出来た 4 時間 10 分(15700 歩)の山歩きでした。(h28. 7. 6)

8 合目の石仏群



3 角点の山頂



コメツツジ



つつじヶ岡から山頂

